

新着図書案内

第2弾

『余命 3000 文字』

(著：村崎羯諦)

「大変申し上げにくいのですが、あなたの余命はあと 3000 文字きっかりです」…ある日、医者から文字数で余命を宣言された男に待ち受ける運命とは…? (『余命 3000 文字』)



「妊娠 6 年目にもなると色々生活が大変でしょう」母のお腹の中で引きこもり、ちっとも産まれてこようしない胎児が選んだまさかの選択とは…? (『出産拒否』)

「小説家になろう」発、年間純文字【文学】ランキング第 1 位獲得作品が、待望の書籍化。朝読、通勤、就寝前、すき間読書を彩る作品集。泣き、笑い、そしてやってくるどんでん返し。書き下ろしを含む 26 編を収録。

『小説 8050』

(著：林真理子)

このままでは、我が子を手にかけ、自分も死ぬしかない…。

都内で父から受け継いだ歯科医院を営む大澤正樹。美しく従順な妻と優秀な娘に恵まれ、完璧な人生を送っているように見えるが、

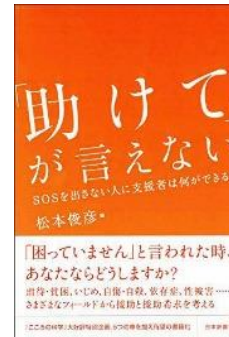


決して家族以外に知られたくない秘密があった。有名中学校に合格し、医師になることを目指していたはずの長男の翔太が、7 年間も自宅に引きこもったままなのだ。「弟のせいで結婚ができない」相手家族に結婚を反対された娘の悲痛な叫びに、正樹はついに息子と向き合う決意をするが…。

『「助けて」が言えない～SOSを出さない人に支援者は何ができるか～』

(著：松本俊彦)

死にたいくらいつらい現在を生き延びるために自傷や過剰服薬を行っている子ども们的ことを考えてみるとよい。一見彼らはカッターナイフや処方薬・市販薬に単に依存しているように思えるかもしれないが、実はそうではない。問題の本質は、カッターナイフや化学物質という「物」にのみ依存し、「人」に依存できないこと、より正確に言えば、安心して「人」に依存できないことにあるのだ。本書は、臨床現場で遭遇するであろう、様々な援助希求能力の乏しい人々、そしてそれゆえに支援者を悩ませ、苛立たせる人々をとり上げ、その理解や対応のヒントを集めたものである。



『メーター検針員テゲテゲ日記』

(著：川島 徹)

「あとで来てよ」「えっ?」「あとで来てって言うてるだろう!」

今日は 332 件ある。やっと 82 件目である。同じ家に 2 度も来るほどのんきなわけにはいかない。あんたね、こっちはそんなのんきに仕事をやっているんじゃないよ、と言いたかったが、指先は震えていた…。私は 10 年間に電気メーター検針員として過ごした。その経験を書いたのが本書である。



○ その他の新着図書一覧

原田 マハ	ギフト
山田 宗樹	きっと誰かが祈ってる
ベティ・L・ハラガン	ビジネス・ゲーム
小柳 学	仕事本
ブレディみかこ	子どもたちの階級闘争
せやろがいおじさん	せやろがい!ではおさまらない
田口久人	20代からのあなたを強くする「あかさたなはまやらわ」の法則
キタハラ	熊本くんの本棚
BUSON	ニヤッと笑える超現代風紫式部OL日記
〃	BUSONの職業あるある大図鑑
田島 安江	文学ムック たべるのがおそい vol.1~3
〃	さよならの夜食カフェ
伊藤 滋	現代用語の基礎知識 2020
坂東 真理子	「なりたい!」が見つかる将来の夢探し!